



桜川保育園

〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号

【TEL】029-821-8341 【FAX】029-823-0390

【E-mail】sakuragawa@showfukai.com

【URL】https://showfukai.com/

【発行責任者】施設長 宇都野 和司

※掲載写真は、保護者の同意を得ています。

桜川保育園 だより



備えあれば憂いなし

子どもたちの大切な命を守るために!!

近年は台風や集中豪雨などによる水害や、不審者の侵入などの人為的災害も多く発生し、さらなる防災対策の強化が必要とされています。そこで、子どもたちの命を守るための「もしも」に備える避難訓練が欠かせません。

東日本大震災では、予想もしなかった大規模な地震と巨大な津波で多くの尊い命が失われました。岩手、福島、宮城の3県で被災した保育施設の数も当時78施設あり、その中で保育中に乳幼児が亡くなった園は、僅か1園のみでした。毎月行っている避難訓練が功を奏し、迅速かつ冷静に避難行動を取ったことで、子どもたちの命を守ることができたといえます。

桜川保育園では、月に1回地震、火災、水害、不審者侵入を想定し、落ち着いて行動できるように、全園児で避難訓練を行い、あらゆる状態の想定や避難経路、職員の役割分担を再確認し、適宜、見直しを行いながら有事に備えています。また、近くに桜川があるため、河川の氾濫を想定した年2回の水害避難訓練では、避難した子どもたちを一刻も早く安全に保護者の皆さんに引き渡せるよう、各家庭に対しての「一斉メール配信訓練」も併せて行っています。

「備えあれば憂いなし」。今後も様々な災害等を想定した訓練を定期的に行い、職員はもちろんのこと、子どもたち一人ひとりの防災意識も一緒に高められるような活動を実践していきます。

※土浦消防署の協力により実施した「初期消火訓練」や「救命講習会体験記」「煙体験記」については、(9)・(10)ページで紹介しています。



登園 → 自由遊び → 午前のおやつ → 遊び
 → 昼食 → 午睡 → 午後のおやつ → 自由遊び → 降園



ゆめ組 0歳児



入園してから半年が経ち、少しずつ一人ひとりの園生活のリズムが安定してきました。毎日、元気に身体を動かし、笑ったり泣いたり怒ったりとさまざまな表情、可愛い姿をたくさん見せてくれています。

0歳児の生活と遊びは、「はじめて触れる、はじめて見る」の連続です。この「はじめて」との出会いを経験する中で、好きなこと、楽しいことをたくさん見つけていってほしいと願っています。

子どもたちが保育園で過ごす時間が家庭で過ごす時間と同じように、安心して過ごせる場となるような環境作りを心掛けています。また、子どもたちの欲求や不安をその時々で丁寧を受け止め、応答的な関わりをもつことで信頼関係が深まるように『愛着形

成』を大切にしています。日々、たくさんのご成長を吸収し、めまぐるしく成長していく姿に驚かされることばかりで、子どもたちの毎日の成長を身近で感じることもできるのは保育者としてとても嬉しいことです。何をしても可愛い姿に癒され、子どもたちから毎日元気をもらっています。

これからも、子どもたちの心に寄り添い、一人ひとりのペースで一歩ずつ伸び伸びと成長していく姿を保護者の皆様と一緒に見守ってまいります。

大好き♡ 歌あそび



子どもたちは「歌あそび」が大好きです。人と触れ合う心地よさを感じることは、安心感につながります。目と目を合わせ、子どもたちとのスキンシップを大切にしています。

言葉の響きやリズムのおもしろさを感じながら身体を動かし、表現する楽しさを味わいながら、ご家庭でも、ぜひ繰り返し一緒に遊んでみてください。



紹介します、
 大好きな「歌あそび」

- ♪大きなたいこ
- ♪手をたたきましよう
- ♪とんとんとん
- ひげいさん
- ♪いない いない ばあ
- ♪いっぽんばしこちょこちょ
- ♪バスにのって
- ♪サンサンたいそう
- ♪バナナくんたいそう

「クラス目標」

- ★手遊びやふれあい遊びをとおして信頼関係を築き、安心して過ごせる場を作っていく。
- ★一人ひとりにあたたかく寄り添い、欲求を受け止め、楽しい園生活を送る。
- ★安全な環境の中で、探索活動を広げていく。



いな〜い いな〜い
 ばあ〜

はな組 1歳児

1歳児クラスでは、月齢によって発達の違いに大きな差がありますが、運動機能や言語機能がぐましく発達し、自我が芽生える時期です。また、行動範囲が広がっていく中で、好奇心が旺盛になり、言葉の習得も進んでいきます。成長が著しい子どもたちと毎日楽しく過ごせるよう3つの目標を掲げました。

保育園生活に慣れ、安心感をもって毎日楽しく過ごす

安心できる場所として心地よく過ごせるように関わることが大切です。信頼関係を十分に築き、子どもたちの思いを受け止めながらのびのびと過ごせる環境を整えて援助していきます。「たっぷり遊んで、しっかりと食べて、風通しよくぐっすり眠れるよ

うな生活リズム」を作ること、は、情緒不安を取り除き、毎日の安定した生活に繋がっていきます。

全身を動かしていろいろな遊びを楽しみ、周囲や友達への興味や関心を広げる

子どもたちの興味や関心から遊びを広げていくことが大切です。手先を思い通りに動かせるようになるにつれ、周囲の物事への好奇心

が強くなります。それぞれが好きな遊びを見つけて楽しむ中で、友だちに興味をもち、友だちと関わろうとする姿が増えるよう、日々の保育計画を立てています。

身の回りのことに興味をもち、自分でしようとする気持ちをもつ

自分でやってみようとする意欲を大切にしています。できることの楽しさを積み重ねることで徐々に身の回りのことに興味や関心をもつようになります。たとえ、うまくいなくても「こまできて、えらかったね」と十分に認め、できないところだけを手助けしたり見守ったりしています。自分のやりたいことを存分に味わえる生活が送れるよう、主体性を育てていきます。



すやすやおひるねタイム



ひとりでがんばるぞ!



みてみて!



「わくわくのびのびいきいき」育つために

自我が芽生えてくるこの時期には、「やりたい」気持ちを言葉にしてあげたり、少し手伝ってあげたりすることで、子どもの気持ちが満たされ、次のチャレンジに繋がっていきます。遊びや生活の中で成長していく様子を見守り、保育園で「わくわくのびのびいきいき」育つために一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、保護者の皆様と一緒に子どもたちの成長を喜び合っていきます。



日常保育





🌈 クラス目標 🌈

- ・身の回りのことに興味をもって自分で行おうとする。
- ・生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。
- ・遊びや活動をとおして興味や関心及び友だちとの関わりを広げていく。

にじ組 2歳児



2歳児になると、自我が芽生え、言葉数もどんどん増えてきます。遊び方も1人遊びから徐々に集団遊びへと変化し、みんなで遊ぶ楽しさにも気が付いていきます。

個人から集団へと変化していく2歳児の成長の姿を踏まえて、今年度は、上に示すような3つのクラス目標を掲げて保育をスタートしました。



できるようになったよ!!



自分で行おうとする気持ちが強くなる子どもたちが、自信をもって身支度に取り組みよう、タオルのたたみ方、帽子のかぶり方、靴の履き方など、お手本を見せながらわかりやすく伝え、1人でできることが増えていく喜びを保育者が子どもたちと一緒に感じています。

また、どんなことにも挑戦できる環境を整えていくことで、最初は「先生やって!」と書いていた子どもたちも、今では外遊びの前に靴下を履



ちょうちょうになったね!!



いっしょにみよう!



たり帰りの支度でタオルをたんだりするなど、身支度を意欲的に挑戦する子が多くなってきました。「先生、見ててね!」「見て!できたよ!」と、1人でできた喜びを伝えてくれる子どもたちの表情は、自信に満ち溢れ、とてもキラキラしています。

にじ組の保育室では、季節に合わせて「おたまじゃくし」や「アゲハ蝶の幼虫」「メダカ」「カタツムリ」など、さまざまな生き物を育てています。飼育をとおして生き物に興味を持ち、友だちと一緒に水槽や虫かごを覗く姿がたくさん見られました。外遊びの時間には一緒に虫探しをしたり、カタツムリの歌を唄ったりと、生き物とおして友達同士の関わりも増えてきました。



おたまじゃくし?



きれいにたためるよ!

かばんのチャックもじょうずにしめられるよ!



おもいふとんもはこべるよ★



じょうずにはけるかな?

今年度も残り半年となりましたが、子どもたちの成長に合わせて、これからも「やりたい!」「という気持ちを大切に、できることを一つひとつ増やしていきながら、進級に向けてより多くのことが経験できる環境を作っていきます。



パーティーの準備中♪

おんぶとだっこ！
小さなお母さんに
変身♡



ごっこ遊び



先生と園児役で
朝のご挨拶☆



恐竜カード



カルタ

カードを並べるのも
上手になったね♪

ほし組 3歳児

3歳児は、好奇心が旺盛になって何でも知れたがったり、自我がますます強くなったりするので、何でも自分で行おうとする「意欲」が育つ大切な時期でもあります。
また、友だちの存在に関心をもつ時期でもあり、イメージを共有しながら一緒に遊ぶことを楽しめるようになります。友達との関わりが増え、仲間意識が高まると共に、みんなので1つの遊びをするようになることから、「仲間に入れて」「いいよ」「一緒に遊ぼう」などのやり取りをする姿も見られるようになります。
さらにそこから保育者が間に入り、ルールのある遊びに誘ったり、「ごっこ遊び」用にエプロンを用意したりするなど、遊びを発展させながら、子どもたちがより一層楽しめるよう、日々、関っていくことを心掛けていきます。

* クラス目標 *

- 簡単なルールのある遊びや役割遊びをとおして、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 身の回りのことを自分でしようとする意欲や自信を育んでいく。
- 身近な自然に関心を持ち、戸外で体を使った遊びを楽しむ。

『遊び方も成長中♪ 役割分担もルールもお任せ！』

子どもたちの遊び方に変化が出始め、買い物役とご飯を作る役に分かれて遊ぶ“ごっこ遊び”では、周りの友達に「パーティーするよ」と声を掛け、みんなでテーブルを囲んで“パーティーごっこ”などを楽しんでいます。

また、「〇〇が赤ちゃんで、〇〇がお姉ちゃんね！」などそれぞれに役を振り当てて演じたり、キャラクターになりきったりしながら遊ぶことも増えてきました。

最近では、“カードゲーム”や“だるまさんがころんだ”など、ルールのある遊びも楽しめるようになりました。それぞれの遊びのルールも少しずつ理解できるようになってきたことで、子ども同士で遊び方を伝え合う姿が数多く見られるようになりました。

お気に入りは“恐竜のカード遊び”で、驚く程たくさんの恐竜の名前を言い合いながら、男の子も女の子も一緒になって楽しんでいます。



タッチ♪

だるまさんがころんだ

動きを止めるのも
上手になったね☆

つき組



4歳児

つき組になって半年が経ち、子どもたちもすっかり今の生活に慣れてきた様子で、毎日伸び伸び元気に活動する姿から大きな成長を感じています。

事が増えてしまうこともあります。そこで、今年度は、「相手の気持ちに気づき、意見のぶつかり合いがあっても、自分たちで解決できるようにする」という目標を掲げて保育に取り組んでいます。

4歳児は3歳児に比べ、全身のバランスをとる能力が発達してくるので、身体を思うように使えるようになり、行動範囲も広がるので、遊びも自分で工夫することができるようになります。また、自分以外の人や物への関心が高まってくる時期でもあり、友達と一緒にいることの喜びや楽しさを感じ、友だちとのつながりが強まってきます。その反面、競争心が芽生え、争い

その一環として、「椅子取りゲーム」「ハンカチ落としゲーム」「風船運びゲーム」など、ルールのある遊びを積極的に取り入れ、友達との関りが上手にできるよう工夫しています。

集団遊びをすることで、ルールに合わせる動くことや、友だちを思いやることなど、社会性が身に付き、友だちと達成感を分かち合ったり、協力し合ったりすることの大切さも徐々に理解できるようになってきます。

椅子取りゲーム



初めのうちは、ゲームに負けて泣いてしまったり、自分の思いどおりにならず、途中で投げ出してしまったりすることもありました。が、繰り返し行っていく中で、ルールをよく理解し、みんなで楽しく参加できるようになってきました。

だちの気持ちを考えられるようになり、譲り合ったり順番を待つ遊んだりすることができるようになるなど、保育者の仲立ちがなくても子どもたち同士でコミュニケーションを取りながら楽しく遊ぶ場面も多くなってきています。

今後、子どもたちの好奇心や挑戦する気持ちを大切にしながら、一人ひとりが自信をもって、最後までやり遂げる力を育てられるような保育を行っていきます。

ハンカチ落としゲーム



風船運びゲーム



当番活動の紹介

そうじとうばん

そうじの時間に小ぼうきを使って掃きそうじをしています。



みずやりとうばん

保育園で栽培している野菜や花壇にじょうろで水やりをします。



自分たちで布団をきれいに並べて敷き、午睡の準備をします。

ふとんとうばん



そら組 5歳児

年長5歳児クラスでは、小学校への就学を視野に入れながら、「生活の見通しをもち、自分で考えて行動する」という目標をもって毎日の生活を送っています。その中で、子どもたちが毎日交代で取り組んでいる当番活動の1日の流れを紹介します。

そら組の当番は、一緒に当番を行う友だちを選んで2人で行います。全員の友だちとペアになって様々な経験をしてもらいたいという思いから、当番の子は毎回違う友だちを指名します。その後、「朝の会」の司会進行を行います。その日にみんなで唄う歌を選び、挨拶のリードを取ります。

「朝の会」の最後には、一日の中で頑張りたいことや、やってみたいことなど、自分の



一緒に当番
やりたいひと

気持ちを発表し、子ども同士で楽しくコミュニケーションを取っています。給食の時間は、保育者の手伝いを行います。お皿並べ、配膳の誘導、席についてない子がいれば声を掛け、食事の体制を整える役目を主体的に行っています。

自由を発表します。その後、頑張っていた友だちを紹介し、クラスみんなで褒め称えます。こうして当番の最後には、翌日の当番や係、日めくりカレンダーの確認や給食献立の記入を済ませて、当番活動の終了となります。

子どもたちは、この当番活動をととても楽しみにしていて、どの子も意欲的に取り組む姿が見られます。ペアになった子と役割を分担しあい、様々なトラブルを経験し、子ども自身で試行錯誤しながら活動を進めていく姿に、日々成長が見られます。今後も当番活動をとおして、自立心や、協同性を養い、豊かな感性と表現を身に付けていってほしいです。

「ひまわりのせいぐらベコンテスト」にみんなで寄せ書きを作って応募しました。ひまわりは、2m82cmの高さになりました。敬老の日に、高齢者施設「飛羽ノ園」のみなさんにメッセージボードを作って贈りました。また「にじ」「ふるさと」の歌と「アブラハムの子」の踊りをビデオレターにしました。



恒例の質問コーナー

朝ごはんはなにを食べましたか？



明日の係は・・・何かな？まわしてっつ

明日は、ごはんすきやき・・・みそ汁

そら組の子どもたちが、作り上げた制作を紹介します。絵の具やクレヨンそれぞれ子どもたちの好きな道具を使って、自由に表現できるように取り組んでいます。

作品紹介

「ひまわりのせいぐらベコンテスト」にみんなで寄せ書きを作って応募しました。ひまわりは、2m82cmの高さになりました。

敬老の日に、高齢者施設「飛羽ノ園」のみなさんにメッセージボードを作って贈りました。また「にじ」「ふるさと」の歌と「アブラハムの子」の踊りをビデオレターにしました。



桜川保育園そら組

子どもの健康支援



病児室オープン & AED設置

保育園において、子どもたちが健康に安全に過ごせる環境を整えることは重要です。そのために、『保育所保育指針』に基づき、一人ひとりの「子どもの健康状態、発育及び発達の状態の把握」や「子どもの健康の保持と増進」、「疾病や傷害への対応」を行っています。

「子どもの健康状態、発育及び発達の状態の把握」では、嘱託医師が健康診断を実施する際に看護師が同席し、保護者と子どもの情報を共有します。日々の健康状態については『コドモン』（連絡帳機能のあるアプリ）を使用し保護者と情報交換を行いながら、その情報をもとに保育中の様子を観察していきます。

「子どもの健康の保持と増進」では、保健計画に沿って季節に応じた感染症や体調不良に注意し、さらに子どもが

自分の健康に関心を持ち、感染予防や歯磨きなどを適切に行うように健康教室を実施しています。

また、「疾病や傷害への対応」として当園では今年度より体調不良児対応型の病児保育の利用を開始し、在園児の保育中の体調不良や怪我の場合に、保護者が到着するまで専用の部屋で看護師が対応できるようにしました。更に、突発的な事故に備え、全職員が乳幼児への心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）の使用方法を含む救命講習を受講し、その後、当園にAEDを設置することを決定しました。

これからも、子どもたちが健やかに成長できるように、保護者や関係機関と協力しながら職員一丸となり支援していきます。



食育の増進

子どもたちの成長を願って！

保育園における食育の推進は、『保育所保育指針』にも記載されている大切な役割となっており、園では「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標に食育を実施しています。この目標に沿って、園では年齢毎に食育計画を立て活動しています。

例として、年長児を中心に年間をとおして野菜の栽培、収穫を行い、その都度給食に栽培した野菜を取り入れていきます。また、給食で使用する食材の下処理（そら豆の鞘むき、とうもろこしの皮むきなど）を栄養士と一緒に行うなど、食への関心、食への有難みをもてるような活動を行っています。

7月の「夕涼み会」では、年長児が食材の買物物を自分たちで行い、ピーラーや包丁を使用し、カレーとフルーチ作りをしました。子どもたちは「自分にもできた嬉しさ」「食事を作りたいへんさ」「みんなで食べる楽しさ」などを実感できたようでした。

そのほか、外部の栄養士を招いて「食育教室」を開き、食べ物の働きを学びバランス

の良い食事を考えられる機会を作ったり、毎日の給食を園の入口に展示したりして、親子間でも食の話題になるようにしています。実際に月に1回、給食の時間に栄養士と調理師が子どもたちと一緒に食べる事で「これはどうやって作ったの？何から出来ているの？」などの会話が増えてきているので、食への関心も高まってきました。しかし、現在コロナ禍において、黙食の指導などにより給食時間のコミュニケーションのとり方に難しい点が多々ありますが、



給食担当者が普段から子どもたちとの触れ合いを大切にしているため、給食時間以外でも、子どもたちが「給食美味しかったよ」「いつも給食を作ってくれてありがとう」など感謝の気持ちを積極的に伝えてくれるようになり、担当者にとっても日々の励みとなっています。

乳幼児期は、食の基礎作りをする上で大切な時期です。好き嫌いや孤食などの問題も多い時期ですが、まずは「食事は楽しい」という事を伝え、完食をゴールとするのではなく、食事を楽しむことや食事を作っている人への感謝の気持ちをもてるようになることなどを伝えながら、子どもたちの成長に携わっていききたいと思えます。





▲消防隊員と記念撮影 (つき組 : 4歳児)



▲初期消火訓練 (職員)



▲保育参観 (ほし組 : 3歳児)

夕涼み会 (7月15日)



▼にじ組 (2歳児)



桜川保育園まつり (6月25日)



▼ほし組 (3歳児)

▼はな組 (1歳児)



救命講習会・煙体験

いざというときに慌てないために！

災害はいつ発生するかわかりません。万が一、災害が発生した際には、協力が必要になる関係機関との連携が図れるように、今年度も土浦消防署の指導により、避難訓



練や講習会を実施しました。

6月29日の消火訓練では、職員が水消火器を使って放水し、初期消火に必要な消火器の使い方を学びました。

また、6月29日と30日の両日には、全職員を対象にした「救命講習会」を開催し、乳幼児の人形を使用して心肺蘇生法を学びました。

9月1日の『防災の日』に合わせた避難訓練では、3歳から5歳児までが、体に害のない煙が充満したテントで「煙体験」を行い、火災の時に発生する煙の恐ろしさや姿勢を低くして壁に沿った移動の方法を体験しました。

○救命講習会体験記（職員）
消防士の方のご指導のもと、子どもの模型を使って初めての救命処置を実際に行い、乳幼児の対処方法等について理解を深めることができました。

実際に子どもが危険な状態に陥った時に、迅速かつ適切な行動によって子どもの命が守れるよう、今回の講習会で学んだ貴重な体験を、保育の現場で実践できるようにしていきたいです。

○煙体験記（園児）
・暗くて見えなくて、煙が自分の方に来た時には、ものすごく怖かった。本当の火事じゃなくて良かった（3歳児）
・友だちと一緒に入ったのに、誰も見えなくなると心配になった。テントを出たらみ

んながいたので安心した。（4歳児）
・入るときは怖かったけれど、消防の人に、「小さくなくて壁を触って歩いてください」と教えてもらったので頑張ることができた。（4歳児）

桜川保育園まつりの売上金 社会福祉協議会に寄付

6月25日（土）に開催した「桜川保育園まつり」において、保護者や地域の方々に販売したマリーゴールドやコキア、ヒマワリ、ラベンダーなどの花苗 350本の売上金 17,500円全額を、7月19日（火）に土浦市社会福祉協議会に寄付しました。

花苗は、保育園児が交代で水やりや草取りをしてそれぞれ種から育てたもので、日常保育活動の中で、花がどのように成長するのかなど、成長の過程を知ってもらうために、昨年咲いた花の種を保管し、それを撒いて子どもたちと一緒に観察してきました。

売上金を寄付することについては、保育活動の中で「社会のために役立てることができる」ことを子どもたちに伝えるとともに保護者の皆様にもご理解をいただきました。

土浦市社会福祉協議会会長でもある安藤真理子土浦市長から「子どもたちが一生懸命育てた花の売上金を児童福祉のためにいただけることはたいへんありがたいこと。子どもたちの気持ちが反映されるように大切にに使わせていただきます」と感謝のお言葉をいただきました。

ご協力、ありがとうございました。



第51回 花いっぱい運動 コンクール

最優秀賞 2連覇



第51回「花いっぱい運動コンクール」において、今年度も昨年度同様、最優秀賞となる「土浦市まちづくり市民会議議長賞」を受賞し、2連覇を達成しました。
今年度は500本以上のマリーゴールド、サルビア、コキアなど、これまでの花の種類に加え、タイタンヒマワリ300本を配置し、「花いっぱい運動コンクール」のほかに、民間会社主催の「ひまわりのせいぐらべ」全国コンテストにも応募しました。
「ひまわりのせいぐらべ」の結果は、背丈は2m82cm

・前が見えなかった。火事の時は、すぐに逃げられないと思いい、怖かった。（5歳児）
・初めて煙の中に入った。煙の中で人を助ける消防士さんがカッコいいと思った。（5歳児）

（1位は4m95cm）で、残念ながら入賞には至りませんでした。

子どもたちが自然と触れ合いながら楽しそうに植物や花の成長について学ぶことも、保育活動の一つとして大切ですので、来年度もみんなで「花いっぱい運動コンクール」の『最優秀賞3連覇』と「ひまわりのせいぐらべ」全国コンテストでの入賞を目指してチャレンジしていきます。

